



第10週5月8日(曇り)

東名グラウンド(2)グラン

第1試合【1回戦】浜風1勝

港の守備の乱れをつき、浜風が強力投手陣を攻略し完勝

	(0)	(4)	(3)	(1)	(0)	(1)	計	安打
浜風	0	4	2	0	0	1	7	(9)
港	0	0	0	0	0	0	0	(6)
	(1)	(1)	(3)	(0)	(0)	(1)		審:及川

【勝】山下 3勝 1敗(1)
【敗】斎藤 3勝 2敗

MVP: 山下 V打点: 伊藤慎
二塁打: 山下・島(浜風)



6回完封2二塁打 (山下)

港				浜風											
守	氏名	打数	安打	打点	通算打率	守	氏名	打数	安打	打点	通算打率				
6	山脇	2	1		.313	5	後藤	1			.324				
4	犬塚	3	1		.362	6	高橋茂	3	1		.222				
3	石川伸	2			.455	4	新川	3	2	1	.548				
5	柴田	2			.480	8	亀田宏	2			.313				
1	斎藤	2			.313	1	山下	2	2	1	.278				
8	佐藤寿	1	1		.441	2	島	3	1	1	.414				
9	安達	2			.412	D	伊藤慎	2		1	.172				
2	三輪	2			.422	7	菅	2	1	1	.176				
7	竹内	2			.268	3	関根	3	1		.324				
D	森田	2	1		.268	9	網倉	2			.162				
D	小笠原	2	2		.265	D	上原	2	1	1	.361				
D	川邊	2			.459	D	富岡	1			.069				
						D	佐々木	1			.120				
チーム計				24	6		.250	チーム計				27	9	6	.333

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	四球	三振	自責	投手	回数	安打	四球	三振	自責
斎藤	3	7	2	3	3	山下	6	6	2	4	
柴田	3	2	4	1	1						
チーム計						チーム計					
6						6					
9						6					
6						4					

港の誇る斎藤、柴田陽に対し、浜風打線がいかに挑むかが焦点だったが、試合は戦前の予想を覆す展開となった。1回はともに走者は出すものの無得点に終わったが2回表浜風は一死後、山下、島の連続二塁打で二、三塁のチャンスに伊藤が左犠飛を放ち先制。レフトの竹内が落球しておりチャンスは拡大。さらに菅のスライズも投手斎藤の野選、捕手三輪の連続失策も重なって加点した。二死後、上原の右中間安打でこの回4点を奪った。3回にも浜風は高橋茂、新川、山下の短長打で2点を加え、大きくリードした。港は、浜風の先発山下に対し、走者は出すもの後続なし。かくし球での憤死などもあってチグハグな攻撃が目立った。6回表には、港の二番手柴田を攻め、無死満塁とした浜風。遊ゴロで本塁封殺となることを捕手がタッチプレーに行き三走の生還を許してしまうミス(記録は遊撃手の野選)もあって7点目を加え、試合は決した。MVPは6回完封、打っては2二塁打と投打で活躍の山下が選ばれた。(浜友: 柳本)

第2試合【1回戦】浜翔1勝

浜翔、逆転で開幕戦以来の2勝目、連敗脱出

	(2)	(3)	(1)	(1)	(1)	(0)	計	安打
浜翔	1	2	1	2	0	0	6	(8)
浜友	3	0	0	0	0	0	3	(3)
	(1)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)		審:五十嵐

【勝】河田 2勝 2敗
【S】川崎 1敗 2S
【敗】大川 2勝 3敗(1)

MVP: 平野 V打点: 平野
二塁打: 平野・軽部(浜翔)



勝ち越し二塁打 (平野)

浜友				浜翔											
守	氏名	打数	安打	打点	通算打率	守	氏名	打数	安打	打点	通算打率				
6	田中慶	3			.378	9	入江	3	1		.348				
7	樋高	3	2		.348	7	大谷	3			.313				
8	高木浩	2			.432	4	平野	2	1	1	.281				
2	古山	1			.550	6	軽部	2	1	1	.282				
5	高木			1	.359	1	河田	2	1		.361				
4	成田	1		1	.258	2	本末	2	1		.447				
9	尾野	2			.226	8	廣野	2	1		.212				
D	江川	1		1	.306	5	大石	2			.176				
D	高須賀	2	1		.136	D	川崎	2	1	1	.263				
3	柳本	1			.250	D	高島	1	1		.120				
D	岡崎	1			.125	D	原田	2			.048				
1	大川	1			.086	3	富森	2			.100				
						D	弘中	1			.037				
						D	館	1			.000				
チーム計				18	3	3	.167	チーム計				27	8	3	.296

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	四球	三振	自責	投手	回数	安打	四球	三振	自責
大川	4	7	2	1	2	河田	4	2	9	4	3
古山	2	1	1	1		川崎	1 1/3	1		1	
チーム計						チーム計					
6						5 1/3					
8						3					
3						2					

浜翔は初回軽部の中越二塁打で先制するも、先発河田が初回裏制球に苦しみ押し出しを含む4連続四死球で3点を献上する。浜翔は2回表すぐさま3本の安打を集中、敵失も絡み2点を返して同点。浜友はその裏なお制球に苦しむ河田の3連続四球で無死満塁のチャンスを迎えるも攻めあぐねて無得点でチャンスを潰す。一方浜翔は3回平野の左翼線適時二塁打で勝ち越すと4回にも内野安打1本ながら敵失に足も絡めて2点を追加。浜友は4回までに9四死球を得るも2安打と攻めあぐね、初回の連続押し出しによる3点に留まることが響く。浜友二番手古山は5回6回と浜翔を零封し味方の反撃を待つも、浜翔二番手川崎を捉えられない。このまま6回裏浜友攻撃途中で時間切れとなり、6-3で試合終了。浜翔は開幕戦以来の勝利で4連敗を免れた。MVPは勝ち越し二塁打を放った平野が獲得。(港: 森田)